

(別紙) 最優秀賞概要

□ 歩くまち・京都賞(京都市長賞 アプリ開発部門)

受賞者: 松岡輝樹

作品名: (仮)京都観光アシスト

概要:

出発地点と出発時刻、周遊する観光スポット、各スポットでの滞在時間を入力すると、バス・電車の乗り換え時刻と歩行ルートが表示される。特に行先を決めていない利用者には、「お勧めルート」から観光計画を作成。観光ルートやアクセス時間、お勧めルートを制御することで観光客の集中を解消する。



□ SIP 自動運転賞

(内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)賞 アプリアイデア部門)

受賞者: 東京都立産業技術大学院大学 武蔵恵理子、河西大介

株式会社NTTデータフロンティア 畑中倫也

作品名: 手ぶらで歩きたくなるアプリ-Teburan-

概要:

手荷物を預けるサービスを軸に、独自の新たな観光資源の位置情報と混雑統計データから「隠れた観光スポット」をすすめ、人気観光スポットの混雑緩和と新たな観光資源の発見を促進、また市民もユーザおよびサポーターとして利用可能とすることでマイクロツーリズム、地域の魅力発見、観光ボランティア活動への参加を促す。

